

第29回技能グランプリ 旋盤職種 Q&A

質問①

持参工具の項目で【持参工具 3/3】ページの持参工具一覧表のNo.29【工具整理台】は、バイト台、測定器台、工具台等で合計3台となっておりますが、数量の数え方は、①バイト台②工具台③測定器台の各1台、合計3台ということですか？工具台の上にバイト台を載せた場合は、3台として計上されるのでしょうか？

回答①

工具整理台は、床面から自立した物を台数としてカウントします。出場選手によって、呼ぶ名称が異なるため、貴社の作業台等の呼称では、バイト台－1台、工具台－1台、測定器台－1台の各1台、合計3台を最大数となります。バイト台と工具台がどのように区別されているのか判断ができませんが、独立して自立している台の合計数は最大3台となります。したがって、工具台と呼ばれる台の上部にバイトを整理する目的の置き場を設置した場合、床面に自立している物が、工具台の脚部だけであれば、1台とカウントすることになります。

最大数が3台となっておりますが、3台の作業台等を置く場所が確保されているという意味ではありません。大きい台であれば、1台しか競技スペースに入らないこともあります。

質問②

工具整理台の備考欄－注6の厳守事項に、工具整理台の大きさは、1200mm x 750mm以下と規定されていますが、この寸法は①バイト台 ②工具台 ③測定機台の個別の寸法が上記の寸法内であれば良いという解釈でしょうか？それとも、3台の整理台の合計が1200mm x 750mm以下ということでしょうか？

回答②

工具整理台1台当たりの最大寸法です。しかし、最大寸法の整理台、作業台を3台設置するためのスペースが確保されているわけではありません。

今大会の、各選手に割り当てられた競技スペース(旋盤と旋盤の間のスペース)は狭いことから、最大寸法で製作した工具整理台の場合、心押し台側のスペースに1台しか置くことができないと思います。また、競技スペース内で、競技中に使用したい位置や角度に設置できない場合もあります。

最大サイズの工具整理台を心押し台側に設置した場合、主軸台側には残り1台(900×600mm程度)の整理台を設置することしかできない状態になるものと思われます。相当小さな自立型の台でなければ、他の選手の競技スペースや衝立等の設置に影響を及ぼす恐れがあります。後日、競技会場での事前練習日が設定されますので、今会場で初めて参加される方は、必ず事前に確認してください。

競技準備日に、割り当てられた競技スペースに入らない場合や、他の選手のスペース、各選手の競技スペースの区切りの衝立の設置スペースに影響が生じる場合は、その工具整理台は使用できなくなりますので注意してください。切り屑飛散と安全確保のため、必ず衝立は設置します。

質問③

持参工具一覧表の外側マイクロメータの備考欄に、ハブマイクロは不可とありますが、歯厚マイクロメータの使用は可能なのか？

回答③

一般的に「外側マイクロメータ」と称して販売されているマイクロメータ以外の使用はできません。

以下のものは、全て使用できません。

- ハブマイクロメータ
- 歯厚マイクロメータ
- キャリパ形外側マイクロメータ
- スプラインマイクロメータ
- マイクロメータアタッチメント